

事務事業マネジメントシート

事務事業名	公園維持管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業				
政策名	総合計画体系	まちをつくる		所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
施策名		水とみどりをはぐむまち		所属係	花と緑と水の係	課長名	町田孝弘
関連施策名						電話番号 (内線)	042-576-2111 137
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		全体計画の投入量を記入 年度 ~ 年度

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)	
(事業の内容) 都市公園25箇所、児童遊園53箇所、ちびっ子広場5箇所、その他緑地等11箇所の計94箇所の維持管理事業。 (業務の内容) 樹木剪定、草刈り、清掃 いたづら、故障、不正使用等の苦情・要望対応 委託発注 修繕工事発注 (予算の内訳) 需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費) 役務費(手数料) 委託料、工事請負費、原材料費		総投入量	事業費計(A)
		人件費	事業費計(A)
		正社員従事人数	0
		延べ業務時間	
		人件費計(B)	0
		トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)	
(1) 事務事業の目的と指標	
手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動) 施設の維持・委託契約関係17件・整備工事2件 25年度計画(25年度に計画している主な活動) 施設の維持・委託契約関係18件・整備工事2件(公園便所清掃委託、城山池取水ルート測量設計業務委託、大学通 緑地帯花壇設置業務委託、総研線跡地整備詳細設計委託 他) 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 管理をしている公園等また利用者 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 公園を安心・安全に利用できる。 公園利用時の快適性を向上させる。 結果(どんな結果に結び付けるのか)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア 維持管理公園等箇所数 箇所 イ 委託契約・工事契約件数 件 ウ 修繕件数 件 対象指標(対象の大きさを表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア 市内の公園等の数 箇所 イ 公園利用者数(市民) 人 ウ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア 事故件数 件 イ 公園利用者数(市民) 人 ウ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア % イ % ウ %

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (決算見込み)	25年度 (当初予算)	年度 (最終目標)		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		12,857						
		都道府県支出金	千円	17,580							
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	140,792	110,024	100,910	94,351	99,171	116,011		
	事業費計(A)		千円	158,372	122,881	100,910	94,351	99,171	116,011	0	
	投入量	人件費	正規職員従事人数	人	6	5	6	5	4	3	
			延べ業務時間	時間	6,200	6,150	6,550	6,550	6,550	6,550	
			正規職員人件費計(B)	千円	31,000	30,750	32,750	32,750	32,750	32,750	0
			再任用職員従事人数	人				1	1		
延べ業務時間			時間				1,000	1,000			
再任用職員人件費計(C)		千円	0	0	0	2,000	2,000	0	0		
嘱託職員従事人数		人									
延べ業務時間		時間									
嘱託職員人件費計(D)		千円	0	0	0	0	0	0	0		
人件費計(E)=(B)+(C)+(D)		千円	31,000	30,750	32,750	34,750	34,750	32,750	0		
トータルコスト(A)+(E)		千円	189,372	153,631	133,660	129,101	133,921	148,761	0		
活動指標		箇所	94	94	94	94	94	94	94		
		件	25	15	16	17	17	19			
		件	20	65	68	68	50				
対象指標		箇所	94	94	94	94	94	94			
		人	73,803	74,251	72,970	72,970	74,381				
成果指標		件	0	0	0	0	0				
		人	73,803	74,251	72,970	72,970	74,381				
上位成果指標		%									
		%									
		%									

事務事業名	公園維持管理事業	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和40年頃に日本住宅整備公団の富士見台団地造成により出来た公園をきっかけにして昭和41年度に都市公園条例を制定して都市公園作りに取り組みだした。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
昭和41年度から60年度に設置された公園が多く、施設の老朽化に対する整備が必要となってきた。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
市民、議会から 遊具の安全対策 利用者のマナーの徹底。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評 価	公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 公共施設の適正な維持管理は市の責務である。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 苦情等で修繕が必要なもので職員がすぐ対応できるものについては行っている。ただし、市民協力の手法を更に進めるように努力の必要がある。
有 効 性 評 価	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 安全に利用できる公園でなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 他の類似事業は無い。
効 率 性 評 価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 規模の小さな公園の清掃、除草等の簡易な作業を市民にお願いしており、公園協会の拡充により可能である。多くの公園施設が老朽化しており、修繕・改修について年次を追って整備を進めており、事業費は増加傾向にある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 公園協力を拡充し低木、中木等の手入れが可能であれば少額ではあるが削減の余地はある。
公 平 性 評 価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 市民は誰でも、いつでも利用できるもので公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
<p>公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	公園全体の見直しを行い老朽化に対する整備の長期計画が急務である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 公園協会の拡充と市民協力を得る手法を再検討する。 国立市遊技場維持管理協力員制度の見直しをする。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向 上				維 持			×	低 下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成 果	向 上																					
	維 持			×																		
	低 下		×	×																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務事業マネジメントシート

事務事業名	市民による公園等の管理運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
政策名	総合計画体系	まちをつくる	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
施策名		水とみどりをはくむまち	所属係	花と緑と水の係	課長名	町田孝弘
関連施策名					電話番号 (内線)	042-576-2111 137
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	期間限定複数年度		全体計画の投入量を記入	
			(開始年度 11 年度 ~)		(年度 ~ 年度)	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)	
<p>公園協力会制度により、市民による公園等の管理運営を実施しているが、平成22年度末現在で32団体約330名が登録して活動している。また、21年度から公園協力会及び会員同士のつながりや顔の見える関係づくりのために年3回交流会を実施し、相互に連絡、連携がしやすい環境づくりを行ってきた。今後も市民が、自分たちの住む地域の公園等に愛着を持って、維持管理を行っていただくための支援を行っていく。</p> <p>また、平成18年度に開園したママ下湧水公園では、この土地特有の植生や魚類、水生生物などの生態系に配慮した維持管理等を市民と協働で行っており、崖線の緑環境と湧水の保全も含め、市民の環境意識の向上が見込まれるため、ママ下湧水公園での各種調査、水路の清掃、崖線の樹木及び草刈、剪定を行っていく。</p>		総事業費	総投入量
		財源内訳	人件費
		国庫支出金	正規職員従事人数
		都道府県支出金	延べ業務時間
		地方債	人件費計(B)
その他	トータルコスト(A)+(B)		
一般財源			
事業費計(A)	0		
	0		
	0		

1 現状把握の部(DO)		
(1) 事務事業の目的と指標		
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標。数字は記入しない)	
24年度実績(24年度に行った主な活動)	名称	単位
美化清掃・草刈、剪定	ア 美化清掃・草刈、剪定	回
交流会開催	イ 交流会延参加人数	人
25年度計画(25年度に計画している主な活動)	ウ	
草刈、剪定、美化清掃	対象指標(対象の大きさを表す指標。数字は記入しない)	
交流会開催	名称	単位
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	ア 市民	人
市民	イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ウ	
公園等の管理運営活動を通して、地域への愛着、人と人とのつながり、自然を守る大切さを知る。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標。数字は記入しない)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	名称	単位
・市内全域で、みどりを保全し、さらに増やす	ア 管理運営に参加している市民の人数	人
・公共用水域の水量及び水質を向上する	イ	
	ウ	
	上位成果指標(結果の達成度を表す指標。数字は記入しない)	
	名称	単位
	ア みどりが多いまちだと感じる市民の割合	%
	イ	
	ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(決算見込み)	25年度(当初予算)	年度(最終目標)		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	2,993	3,080	3,150	3,150	3,210	3,311		
	事業費計(A)	千円	2,993	3,080	3,150	3,150	3,210	3,311	0		
	投入量	人件費	正規職員従事人数	人							
			延べ業務時間	時間							
			正規職員人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0	0
			再任用職員従事人数	人							
延べ業務時間			時間								
再任用職員人件費計(C)	千円	0	0	0	0	0	0	0			
嘱託職員従事人数	人										
延べ業務時間	時間										
嘱託職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0	0			
人件費計(E)=(B)+(C)+(D)	千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト(A)+(E)	千円	2,993	3,080	3,150	3,150	3,210	3,311	0			
活動指標	ア	回					840	840			
対象指標	ア	人					74381	74381			
成果指標	ア	人					400	400			
上位成果指標	ア	%									

事務事業名	市民による公園等の管理運営事業	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
市内公園・遊園・ひろばの維持を市民参加で推進させる目的で昭和51年から実施(遊び場維持管理協力員制度。その後、平成11年に公園協会の制度が制定された。)
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
設立当時から見ると参加者が高齢化している。公園利用者のニーズが多様化し、近隣周囲の人間関係も含めた環境が変化しているとともに、それが原因で利用者同士のトラブルに発展したり、市への苦情につながったりしている。公園施設、設備が老朽化しているが、こまめな保守点検が行き届かない。少子高齢化の時代にマッチしていない公園がある。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
公園協会への働きかけが少ない。
市として個々の公園の維持管理の方向性やあるべき姿が見えない。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評 価	公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由]	3 改革・改善方向の部に反映
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ・PR不足 ・新たな担い手づくりを行っていない。	3 改革・改善方向の部に反映
有 効 性 評 価	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容]	3 改革・改善方向の部に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映
効 率 性 評 価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映
公 平 性 評 価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由]	3 改革・改善方向の部に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	目的妥当性及び有効性について…新たな担い手づくりを行い、特定の市民だけではなく、幅広い市民参加に拡充しなければならない。効率性について…人件費削減に向け、専門家市民の協力を得て、低・中木の手入れなど維持管理の方法を検討しなければならない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 市民の協力により新たな担い手を開拓することで、よりきめ細やかな公園維持管理が可能となる。市民へのPRなど新規協会拡大の手立てを講じる必要がある。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成 果	向 上				維 持			×	低 下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成 果	向 上																							
	維 持			×																				
	低 下		×	×																				

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務事業マネジメントシート

事務事業名	日本公園緑地協会参画事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
政策名	総合計画体系 まちをつくる	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
施策名	水とみどりははぐむまち	所属係	花と緑と水の係	課長名	町田孝弘
関連施策名				電話番号 (内線)	042-576-2111 137
予算科目	会計 一般	款 8	項 3	目 4	事業コード 01410000
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 年度 ~) (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 日本公園緑地協会は公園・緑地等に関する事業の健全化・国土美化・都市緑化等の推進するための事業を進めている。 特に協会からの情報は多く国・東京都の情報と同じくらいである。 同協会は地方公共団体が主で北から南までの自治体が参加している。事業内容は年1回の総会又講習会・講演会・交流会を開催している。参加費がかかる。	全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)	
	総事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源
	総投入量	事業費計(A) 0
	人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0
		トータルコスト(A)+(B) 0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動) 各種情報の収集 25年度計画(25年度に計画している主な活動) 各講習会・研修会に参加 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 職員(花と緑と水の係の担当職員) 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 職員の技術向上・情報収集 結果(どんな結果に結び付けるのか) 市内全域でみどりを保全し、さらに増やす	活動指標(事務事業の活動量を表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア 負担金支払い回数 回 イ 各種研修会開催 回 ウ 対象指標(対象の大きさを表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア 研修職員 人 イ 講演会 回 ウ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア 研修職員 人 イ 講演会 回 ウ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア みどりが多いまちと感ずる市民の割合 % イ ウ
---	---

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(決算見込み)	(当初予算)	(最終目標)
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	42	42	42	42	42	42
	事業費計(A)	千円	42	42	42	42	42	42
	0							
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	50	150	150	150	150	150
	正規職員人件費計(B)	千円	250	750	750	750	750	750
0								
再任用職員従事人数	人							
延べ業務時間	時間							
再任用職員人件費計(C)	千円	0	0	0	0	0	0	0
嘱託職員従事人数	人							
延べ業務時間	時間							
嘱託職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費計(E)=(B)+(C)+(D)	千円	250	750	750	750	750	750	750
0								
トータルコスト(A)+(E)	千円	292	792	792	792	792	792	792
0								
活動指標	ア イ ウ	回 回 回						
対象指標	ア イ ウ	人 回 回						
成果指標	ア イ ウ	人 回 回						
上位成果指標	ア イ ウ	% % %						

事務事業名	日本公園緑地協会参画事業	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
この事業は昭和42年から参画している。全国の自治体が加盟している。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
特に変わりはない。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
緑の保全を進める。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評 価	公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 公園、緑を行政の立場からどのようにすべきかを考えることから必要である。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 参画していることにより、積極的に各研修会に参加すべきである。
有 効 性 評 価	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 他に組織がない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由]
効 率 性 評 価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 団体への参加を辞める以外削減余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 脱会すればこれにかかわる人件費は不要となる。
公 平 性 評 価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由]

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) この協会参画は、決して無駄ではない。ただし色々な研究会に参加してこそ意義がある。
公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成 果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務事業マネジメントシート

事務事業名	多摩川流域協議会参画事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
政策名	総合計画体系	-----まちをつくる	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
施策名		-----水とみどりをはぐむまち	所属係	花と緑と水の係	課長名	町田孝弘
関連施策名		-----			電話番号 (内線)	042-576-2111 137
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠
	一般	8	3	4	01410000	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 年度 ~) (年度 ~ 年度)	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
多摩川流域協議会の構成は1省1都2県22市2区3町3村の34行政からなり豊かで潤いのある多摩川を次の世代へ継承するため多摩川を主軸として広域的に公園や自然緑地を結び多様な利用に対応できるようにするための情報・意見交換することを目的とする。協議会の事業9項目からなり特に「住民と行政が一体となった取り組みの検討及び実施」があり、水と緑の空間をどの様に創出するのかこれからの課題となる。 年1回の総会・複数回の幹事会・1~2回の担当者会・4系統の部会に参加		総投入量	事業費	国庫支出金	
			財源内訳	都道府県支出金	
				地方債	
				その他	
				一般財源	
		事業費計(A)	0		
		人件費	正規職員従事人数		
			延べ業務時間		
		人件費計(B)	0		
		トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標、数字は記入しない)										
24年度実績(24年度に行った主な活動) 幹事会・担当者会	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 幹事会</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 担当者会</td><td>回</td></tr> <tr><td>ウ 部会</td><td>回</td></tr> </table>	名称	単位	ア 幹事会	回	イ 担当者会	回	ウ 部会	回		
名称	単位										
ア 幹事会	回										
イ 担当者会	回										
ウ 部会	回										
25年度計画(25年度に計画している主な活動) 幹事会・担当者会											
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民・職員	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 市民・職員</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 市民・職員	人	イ		ウ			
名称	単位										
ア 市民・職員	人										
イ											
ウ											
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 多摩川を媒体とし、これに係わる自治体がまとも行政と市民が共通の知識を得る。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 多彩なイベントを開催し市民参加</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 多彩なイベントを開催し市民参加	人	イ		ウ			
名称	単位										
ア 多彩なイベントを開催し市民参加	人										
イ											
ウ											
結果(どんな結果に結び付けるのか) 市内全域でみどりを保全し、更に増やす・公共用水域の水量及び水質を向上する	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>上位成果指標(結果の達成度を表す指標、数字は記入しない)</td><td></td></tr> <tr><td>ア みどりが多いまちだと感じる市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ 市内面積に占める水面の比率</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ 湧水の測定地点における水質基準達成率</td><td>%</td></tr> </table>	名称	単位	上位成果指標(結果の達成度を表す指標、数字は記入しない)		ア みどりが多いまちだと感じる市民の割合	%	イ 市内面積に占める水面の比率	%	ウ 湧水の測定地点における水質基準達成率	%
名称	単位										
上位成果指標(結果の達成度を表す指標、数字は記入しない)											
ア みどりが多いまちだと感じる市民の割合	%										
イ 市内面積に占める水面の比率	%										
ウ 湧水の測定地点における水質基準達成率	%										

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	年度	
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(決算見込み)	(当初予算)	(最終目標)	
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	30	30	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	30	30	0	0	0	0	
	投入量	正規職員従事人数	人	3	3	2	2		
		延べ業務時間	時間	80	80	150	150	150	150
		正規職員人件費計(B)	千円	400	400	750	750	750	750
		再任用職員従事人数	人						
延べ業務時間		時間							
再任用職員人件費計(C)		千円	0	0	0	0	0	0	
嘱託職員従事人数		人							
延べ業務時間		時間							
嘱託職員人件費計(D)		千円	0	0	0	0	0	0	
人件費計(E)=(B)+(C)+(D)		千円	400	400	750	750	750	750	
トータルコスト(A)+(E)	千円	430	430	750	750	750	750		
活動指標	ア	回							
	イ	回							
	ウ	回							
対象指標	ア	人							
	イ	人							
	ウ	人							
成果指標	ア	人							
	イ	人							
	ウ	人							
上位成果指標	ア	%							
	イ	%							
	ウ	%							

事務事業名	多摩川流域協議会参画事業	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和61年7月24日、多摩川の一級水系指定20周年契機に多摩川サミットが開催され、この中でサミット宣言を行い、これを受け昭和62年2月9日、流域35行政により発足された。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
考え方の多様性により、年々問題が提示されてきた。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
行政間の河川ではなく広域的な河川敷活用を進めてもらいたいとの要望がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関 与 性 評 価	公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 自治体の参画事業	3 改革・改善方向の部に反映
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 国立市独自の計画を策定し協議会で調整することで向上する余地がある	3 改革・改善方向の部に反映
有 効 性 評 価	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 [理由] <input type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 特に影響はないが会の特性から問題が残る。	3 改革・改善方向の部に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映
効 率 性 評 価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 現状では負担金とそれにかかる人件費と諸雑費であり余地はない	3 改革・改善方向の部に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映
公 平 性 評 価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由]	3 改革・改善方向の部に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成 果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務事業マネジメントシート

事務事業名	多摩川整備促進協議会参画事業				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
政策名	総合計画体系	まちをつくる			所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
施策名		水とみどりをはぐむまち			所属係	花と緑と水の係	課長名	町田孝弘
関連施策名							電話番号 (内線)	042-576-2111 137
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠		
	一般	8	3	4	01410000			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入			
	(開始年度 年度 ~)				(年度 ~ 年度)			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)			
多摩川整備促進協議会は多摩川に接している17自治体が加盟して「豊かで美しい河川環境の創出をめざして」地域住民の意見を集約し河川管理者・沿川自治体と連携した川作りに取り組んでいる。同協議会は市・区長をもって構成している。年1回の定例会を開催し、年2~3回の幹事会を開催する。特に要望があれば開催し国に対して申し入れを行う。						総投入量	財源内訳	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
事業費計(A)								0	
人件費									
正規職員従事人数									
延べ業務時間									
人件費計(B)								0	
トータルコスト(A)+(B)								0	

1 現状把握の部(DO)	
(1) 事務事業の目的と指標	
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標。数字は記入しない)
24年度実績(24年度に行った主な活動)	名称 単位
総会1回・幹事会3回・要請行動1回	ア 総会回数 回
	イ 幹事会回数 回
	ウ 要請行動 回
25年度計画(25年度に計画している主な活動)	対象指標(対象の大きさを表す指標。数字は記入しない)
総会・幹事会等	名称 単位
	ア 国立市
	イ
	ウ
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標。数字は記入しない)
国立市	名称 単位
	ア 要請行動 回
	イ
	ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	上位成果指標(結果の達成度を表す指標。数字は記入しない)
多摩川を媒体として沿川17の自治体が歩調をあわせ国に要望・要請をする。	名称 単位
	ア 市内面積に占める水面の比率 %
	イ
	ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか)	
公共用水域の水量及び水質を向上する	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (決算見込み)	25年度 (当初予算)	年度 (最終目標)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	20	20	20	20	20	20	
	事業費計(A)		千円	20	20	20	20	20	0	
	投入量	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	2	2	2	
			延べ業務時間	時間	80	80	150	150	150	
			正規職員人件費計(B)	千円	400	400	750	750	750	0
			再任用職員従事人数	人						
延べ業務時間			時間							
再任用職員人件費計(C)		千円	0	0	0	0	0	0		
嘱託職員従事人数		人								
延べ業務時間		時間								
嘱託職員人件費計(D)		千円	0	0	0	0	0	0		
人件費計(E)=(B)+(C)+(D)		千円	400	400	750	750	750	0		
トータルコスト(A)+(E)		千円	420	420	770	770	770	0		
活動指標		ア	回			1	1			
		イ	回			3	3			
		ウ	回			1	1			
対象指標		ア								
		イ								
		ウ								
成果指標		ア	回			1	1			
		イ								
		ウ								
上位成果指標		ア	%							
		イ								
		ウ								

事務事業名	多摩川整備促進協議会参画事業	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和55年に設立された。昭和49年9月の台風16号の被害を教訓として、多摩川のありかた及び今後の整備を検討。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
多摩川沿川自治体の連携がとれてきた。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
住民の要望にこたえられる河川整備が進められてきた。要望として自然を残す河川整備。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評 価	公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 多摩川だけではなく他の水路、用水にも適用される。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 協議会に参画することで河川関連の知識を他の水路、用水にも適応させられる。
有 効 性 評 価	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 独自で活動できるものではなく、多摩川を媒体としての参画であり、もしも廃止となっても支障はない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 多摩川流域協議会もあるが参画自治体が重複しておりこの辺を調整できれば問題ない。
効 率 性 評 価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 削減するには参画をとりやめるしかない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 人件費削減は参画を取りやめるしかない。
公 平 性 評 価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由]

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) この協議会は自然保護を中心に治水事業をどのように進めるかを話し合う場であり、環境保全課だけではなく他の課も参加できるように進める。
公共関与と妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向 上				維 持			×	低 下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成 果	向 上																					
	維 持			×																		
	低 下		×	×																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務事業マネジメントシート

事務事業名	国上市緑の基本計画進行管理事業				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
政策名	総合計画体系	まちをつくる			所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
施策名		水とみどりをはぐむまち			所属係	花と緑と水の係	課長名	町田孝弘
関連施策名							電話番号 (内線)	042-576-2111 137
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入			
					(開始年度 15 年度 ~) (年度 ~ 年度)			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)				
国上市緑の基本計画は平成15年3月に完成し、現在の事業に活用されている。 緑の基本計画は平成20~21年に見直しを行い施策展開の進捗状況の評価などを行ったが、今後計画推進に係る効果等の適正な評価、進行管理、助言を行う組織の設置を検討し、概ね5年程度での見直しを行っていく。 事業内容 緑の保全・育成 緑の復元・再生 緑の創出・向上の3項目からなり又細目から各事業が成り立つ。 なお計画の基本方針として3つのテーマからなる。 1・自然豊かなまちづくり 2・緑と文化を育むまちづくり 3・美しさと安らぎをおぼえるまちづくり						総投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	
									都道府県支出金	
									地方債	
									その他	
									一般財源	
						事業費計(A)		0		
						人件費	正規職員従事人数			
							延べ業務時間			
							人件費計(B)	0		
							トータルコスト(A)+(B)	0		

1 現状把握の部(DO)	
(1) 事務事業の目的と指標	
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標。数字は記入しない)
24年度実績(24年度に行った主な活動) 施策展開の進捗状況などの確認を行った。	名称 単位
	ア
	イ
	ウ
25年度計画(25年度に計画している主な活動) 厳しい財政状況の中で、体系的に施策展開を図るための具体的な年次計画を検討する。	対象指標(対象の大きさを表す指標。数字は記入しない)
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	名称 単位
国上市緑の基本計画を対象に緑の確保計画、緑被率の向上計画、公園緑地の確保計画	ア 緑確保のための用地確保 m
	イ 緑被率向上の計画 m
	ウ 公園緑地の確保 m
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 計画事業の進行管理が出来る	上位成果指標(結果の達成度を表す指標。数字は記入しない)
	名称 単位
	ア 緑の保全・育成 件
	イ 緑の復元・再生 件
	ウ 緑の創出・向上 件
結果(どんな結果に結び付けるのか) 市内全域で、みどりを保全し、更に増やす	上位成果指標(結果の達成度を表す指標。数字は記入しない)
	名称 単位
	ア みどりが多いまちと感じる市民の割合 %
	イ
	ウ

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (決算見込み)	25年度 (当初予算)	年度 (最終目標)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	50	50	50	50	50		
		事業費計(A)	千円	50	50	50	50	0	0	
	投入量	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	2	3	2	
			延べ業務時間	時間	160	160	400	900	400	
			正規職員人件費計(B)	千円	800	800	2,000	4,500	2,000	0
			再任用職員従事人数	人						
再任用職員人件費計(C)			千円	0	0	0	0	0	0	
	嘱託職員従事人数	人								
	嘱託職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0		
	人件費計(E)=(B)+(C)+(D)	千円	800	800	2,000	4,500	2,000	0		
	トータルコスト(A)+(E)	千円	850	850	2,050	4,550	2,050	0		
活動指標	ア									
	イ									
	ウ									
対象指標	ア	m								
	イ	m								
	ウ	m								
成果指標	ア	件								
	イ	件								
	ウ	件								
上位成果指標	ア	%								
	イ	%								
	ウ	%								

事務事業名	国立市緑の基本計画進行管理事業	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成15年度に策定した計画である。国立のまちづくりをするため必要な計画である。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
宅地開発、道路建設等で緑が減少しているのが実状である。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
事業の実施時期、手法などを計画として示す必要がある。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評 価	公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 市内を全体的に調整する必要があるため	3 改革・改善方向の部に反映
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 基本的な考えは変わらない。	3 改革・改善方向の部に反映
有 効 性 評 価	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容]	3 改革・改善方向の部に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映
効 率 性 評 価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映
公 平 性 評 価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由]	3 改革・改善方向の部に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 財政計画との調整や整合を図りながら年次計画及び実施計画を策定し、適正な評価や計画の進行管理などを実施する推進体制を強化する必要がある。
公共関与と妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成 果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務事業マネジメントシート

事務事業名	生垣新設助成事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
政策名	総合計画体系 まちをつくる	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
施策名	水とみどりをはぐむまち	所属係	花と緑と水の係	課長名	町田孝弘
関連施策名				電話番号 (内線)	042-576-2111 137
予算科目	会計 一般	款 8	項 3	目 4	事業コード 0141300
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 年度 ~) (年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)	
昭和62年12月25日条例第31号国立市緑化推進条例に基づき市長は所有者に対して、ブロック塀等を生垣に改造し、又は新たに生垣を造成するように指導することが出来る。このことによりコンクリートから緑に変化し花が咲くものであれば潤いのある環境が創造できる。 助成を希望する市民が窓口に来て相談する。担当者は生垣助成にあたり条件がみたされているか確認 問題がなければ申請をしてもらう。助成するため交付金決定通知を申請者に送付 申請者は請求書を提出し補助金を受ける。ただし工事が完了したことを確認した後とする。		総事業費	総投入量
		財源内訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源
		事業費計(A)	0
		人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B)
		トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標。数字は記入しない)
24年度実績(24年度に行った主な活動) 助成件数2件	名称 単位 ア 申請件数 件
25年度計画(25年度に計画している主な活動)	イ ウ
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	対象指標(対象の大きさを表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア 国立市民 人口
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 費用の一部を助成する事により、沿道緑化を進める。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア 緑化された延長 m
結果(どんな結果に結び付けるのか) 市内全域で、みどりを保全し、更に増やす	上位成果指標(結果の達成度を表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア みどりが多いまちだと感じる市民の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(決算見込み)	(当初予算)	(最終目標)
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	464	729	759	200	74	800
	事業費計(A)	千円	464	729	759	200	74	800
	0							
	正規職員従事人数	人	3	2	3	2	1	1
	延べ業務時間	時間	80	150	450	150	150	150
	正規職員人件費計(B)	千円	400	750	2,250	750	750	750
0								
再任用職員従事人数	人							
延べ業務時間	時間							
再任用職員人件費計(C)	千円	0	0	0	0	0	0	0
0								
嘱託職員従事人数	人							
延べ業務時間	時間							
嘱託職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0	0
0								
人件費計(E)=(B)+(C)+(D)	千円	400	750	2,250	750	750	750	750
0								
トータルコスト(A)+(E)	千円	864	1,479	3,009	950	824	1,550	0
活動指標	件				3	2		
対象指標	人口				72909	74381	74381	
成果指標	m				25	10		
上位成果指標	%							

事務事業名	生垣新設助成事業	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和62年12月10日付国立市緑化推進条例制定により生垣新設助成が開始された。
沿道緑化の推進として公共の道路だけでなく、市民の協力を得て道路に面している民地にも緑、またブロック塀から緑にPRしながら実施した。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
沿道としての条件があり、最近では敷地いっばいに家屋を建てるが多くなかなかむずかしい。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
条件緩和を要望。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関 与 性 評 価	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由]	3 改革・改善方向の部に反映	
	なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	市のまちづくりの一環である。		
有 効 性 評 価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映	
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	条件を見直す。先どまりの路線も対象にする。		
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容]	3 改革・改善方向の部に反映	
効 率 性 評 価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	申請者も年々増えて、生垣の関心度が浸透してきている。		
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映	
公 平 性 評 価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映	
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	助成事業であるため		
公 平 性 評 価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映	
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	委託にできない。直接対話が肝心である。		
公 平 性 評 価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由]	3 改革・改善方向の部に反映	
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	PR不足である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成 果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務事業マネジメントシート

事務事業名	保存樹木維持管理助成事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
政策名	総合計画体系	まちをつくる	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
施策名		水とみどりをはぐむまち	所属係	花と緑と水の係	課長名	町田孝弘
関連施策名					電話番号 (内線)	042-576-2111 137
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 年度 ~) (年度 ~ 年度)	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)		
昭和62年12月25日条例第31号で定めた国立市緑化推進条例第7条(保存樹林等の指定)第2項により所有者は指定を市長に申請することができる。 これを受け施行規則第4条指定基準により現地確認をし判定する。目通り1.5m・高さ15m以上等の基準実際の作業については 所有者から指定の希望を受ける 担当が現地確認 資料を整理し判定する 指定をすることになった旨を所有者に報告し関係書類を渡す 関係書類を回収し台帳に記載し指定決定通知書を相手側に送付 指定したことを示す標識を設置する 維持管理のための補助金1本につき3,000円支払う。		総投資入量	事業費計(A)	0
		人件費	正規職員従事人数	
			延べ業務時間	
			人件費計(B)	0
			トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)	
(1) 事務事業の目的と指標	
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標。数字は記入しない)
24年度実績(24年度に行った主な活動) 所有者・21名樹木本数・38本	名称 単位
25年度計画(25年度に計画している主な活動)	ア 申請件数 件
	イ 調査件数 件
	ウ
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 樹木所有者(目通り1.5m・高さ15m)	対象指標(対象の大きさを表す指標。数字は記入しない)
	名称 単位
	ア 樹木所有者 人
	イ
	ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 保存費用の一部を補助することにより大木を残すことができる。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標。数字は記入しない)
	名称 単位
	ア 保存されている大木本数 本
	イ
	ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 市内全域で、みどりを保全し、更に増やす	上位成果指標(結果の達成度を表す指標。数字は記入しない)
	名称 単位
	ア みどりが多いまちだと感じる市民の割合 %
	イ
	ウ

(2) 総事業費・指標等の推移								
	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(決算見込み)	25年度(当初予算)	年度(最終目標)
事業費	財源内訳	千円						
	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	102	250	155	203	164	267
	事業費計(A)	千円	102	250	155	203	164	267
	0							
	人件費	人	3	2	3	2	1	1
	延べ業務時間	時間	400	450	650	350	350	350
正規職員人件費計(B)	千円	2,000	2,250	3,250	1,750	1,750	1,750	
0								
再任用職員従事人数	人							
延べ業務時間	時間							
再任用職員人件費計(C)	千円	0	0	0	0	0	0	
0								
嘱託職員従事人数	人							
延べ業務時間	時間							
嘱託職員人件費計(D)	千円	0	0	0	0	0	0	
0								
人件費計(E)=(B)+(C)+(D)	千円	2,000	2,250	3,250	1,750	1,750	1,750	
0								
トータルコスト(A)+(E)	千円	2,102	2,500	3,405	1,953	1,914	2,017	
0								
活動指標	ア 件				2	1		
	イ 件							
	ウ							
対象指標	ア 人				21	21		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 本				37	38		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %							
	イ							
	ウ							

事務事業名	保存樹木維持管理助成事業	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
国立市緑化推進条例制定から(昭和62年12月25日)

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
申請者の減

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
市民要望として市が指定をするからにはすべて面倒見てほしい。対象樹木の剪定費用は大変である。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評 価	公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由]	3 改革・改善方向の部に反映 市民全体が恩恵を受ける緑の減少へ歯止めをかけるため市で助成するべきと考える。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映 現在の助成制度は樹木を保存することを目的に作られたが、さらに条件整理をする。
有 効 性 評 価	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容]	3 改革・改善方向の部に反映 現状では指定樹木に対し拘束力がなく仮に伐採しても問題ない。何らかの条件がつけられれば影響が出る。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映
効 率 性 評 価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映 現状でも助成額が少ない
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映 臨時職員での対応
公 平 性 評 価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由]	3 改革・改善方向の部に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
<p>公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>樹木を保存するためには、所有者の協力がなければならず、木を残すことの大事さをPRし、さらにこのことにより広く緑の保護の必要性がはかれる。</p>

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成 果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務事業マネジメントシート

事務事業名	水路等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
政策名	総合計画体系	まちをつくる	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
施策名		水とみどりをはぐむまち	所属係	花と緑と水の係	課長名	町田孝弘
関連施策名					電話番号 (内線)	042-576-2111 137
予算科目	会計	款	項	目	事業コード	法令根拠
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 年度 ~) (年度 ~ 年度)	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(期間限定複数年度のみ) (単位:千円)		
(事業の内容) 約40Kmの水路(府中用水・本宿用水・湧水路)、矢川の維持管理。一般ゴミ(新聞紙・雑誌ほか)・家庭ゴミを片付けて欲しい、ヘドロをきれいにして欲しい、悪臭がする等の苦情に対応して職員が清掃、又業者に委託して清掃を行う。 用水関係は年に1度(5月20日前後)、府中用水組合(組合長が国立)、本宿用水組合(組合長が府中)が清掃を行う。 (業務の内容) 草刈、清掃(産業廃棄物の清掃とゴミの処理) 不正使用等の苦情・要望対応 委託発注手配、支払い事務		総事業費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源	
		総投入量	事業費計(A)	0
		人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B)	0
			トータルコスト(A)+(B)	0

1 現状把握の部(DO)	
(1) 事務事業の目的と指標	
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標。数字は記入しない)
24年度実績(24年度に行った主な活動) 草刈、清掃 不正使用等の苦情・要望対応 委託発注手配、支払事務	名称 単位 ア 草刈・清掃 回
25年度計画(25年度に計画している主な活動) 草刈、清掃 不正使用等の苦情・要望対応 委託発注手配、支払事務	イ ウ
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 国立市域内の水路	対象指標(対象の大きさを表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア 管理延長 Km
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 特に水田の植え付け、刈入れ前の水の停滞が無くなる。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア 苦情件数 件
結果(どんな結果に結び付けるのか) 公共用水域の水量及び水質を向上させる。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標。数字は記入しない) 名称 単位 ア 市内面積に占める水質の比率 % イ 湧水の測定地点における水質基準達成率 %

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (決算見込み)	25年度 (当初予算)	年度 (最終目標)	
事業費	財源内訳	国庫支出金								
		都道府県支出金								
		地方債								
		その他								
		一般財源	8,993	12,519	25,729	12,915	9,789	17,087		
		事業費計(A)	8,993	12,519	25,729	12,915	9,789	17,087	0	
	投入量	人件費	正規職員従事人数	3	4	4	4	4	4	
			延べ業務時間	1,000	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	
			正規職員人件費計(B)	5,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	0
			再任用職員従事人数							
		延べ業務時間								
		再任用職員人件費計(C)	0	0	0	0	0	0	0	
	嘱託職員従事人数									
	延べ業務時間									
	嘱託職員人件費計(D)	0	0	0	0	0	0	0		
	人件費計(E)=(B)+(C)+(D)	5,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	0	
	トータルコスト(A)+(E)	13,993	20,519	33,729	20,915	17,789	25,087	0		
活動指標	ア	回				89	90			
対象指標	ア	Km				40	40			
成果指標	ア	件								
上位成果指標	ア	%								

事務事業名	水路等維持管理事業	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
国立市総合基本計画・第四期基本構想第1次基本計画で明確にした。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
水路の管理を国より任せ、これに伴う許認可を行っている中で、特に用水路に在っては年々水田が減少のため使用されない水路が出てきている。単につぶすことより水辺を残すことにより住環境の整備と合わせ地域の実情にあった整備をしなければならない。特に用水路は土地改良法、定款等の規定に基づき、水の管理(水利権)を用水組合が行っている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
用水組合は年2回の清掃を行っているが、年々水田が減少する中で市の関与を求めている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評 価	公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由]	3 改革・改善方向の部に反映 国から移管を受け国立市特定公共物管理条例に基づく措置である。市の責務
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映 日常の努力で向上するが職員だけではなく地域を入れ込み展開することが大事である。
有 効 性 評 価	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容]	3 改革・改善方向の部に反映 法律に基づくものであり、廃止・休止はできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映
効 率 性 評 価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映 事業費の削減とあるが不足である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由]	3 改革・改善方向の部に反映 予算・人件について不足である。
公 平 性 評 価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由]	3 改革・改善方向の部に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
<p>公共関与と妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>年々水田が減少するなかで、今後は市が水路の維持管理に係ってくる業務の増大が見込まれる。</p>

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成 果</td> <td>向 上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低 下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向 上				維 持			×		低 下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成 果	向 上																						
	維 持			×																			
	低 下		×	×																			

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務事業名	水路境界証明・占用許可事業	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
国から財産譲与を受けたことによる。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
国有財産譲与以前は、国(東京都)の事務としておこなわれていたが、財産譲与を受け土地所有者として、また管理条例を制定し占用許可事務をおこなうことになった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
建設課所管の財産と同種の事務をおこなっているために、申請人は手続きが重複しており煩雑との指摘が多い。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関 与 性 評 価	公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 市有公共用財産の管理・処分上必要
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 水路台帳整備を実施することにより、境界確定の実施、無許占用物件の適正な処分、水路改修の計画的な実施が可能となる。道路台帳整備に付加した事業化が効率的と思われる。予算的・人的配置が必要
有 効 性 評 価	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 行政財産の管理上必要
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 道路と一体化した事業化が可能
効 率 性 評 価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 現在、事業費は配分されていない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 現在、1人なので削減不可能
公 平 性 評 価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 占用物件に対し占用料は取っている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 事務的に建設課と環境保全課は、同様・同様の事務をおこなっている。
公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向 上				維 持			×	低 下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成 果	向 上																					
	維 持			×																		
	低 下		×	×																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務事業名	住宅地等安全緑化推進事業	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成14年度に緊急雇用対策事業(都)として事業を進めることとした。市内の緑を増やす方策を市民と考える場の提供をする。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
毎年の講習会及び市役所内での相談会に参加する市民は増えている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
緑の重要性について理解が深まり、特に補助金制度についての要望が多い。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評 価	公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 民有地の安全緑地化を推進し、震災時に倒壊の恐れのあるブロック塀をなくし、かつ見通しを良くすることで市民の安全を市民が守るために、市が市民の緑化及び安全意識を高める必要がある。
	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 安全緑化についてより多くの人に知ってもらう。危険なブロック塀が市内にあることを考えると、安全緑地化の余地もまだある。
有 効 性 評 価	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 民有地の緑化推進及び市民の安全意識の向上が目的であり、公益の増進に役立っている。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 生垣助成制度を活用し、セットにすることで安全緑化のインセンティブとなることが期待できる。
効 率 性 評 価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 年4回開催しているガーデン講習会には、講師謝礼、資料等の経費から考えると最低限の金額であり、なおかつ市民の受講意欲を高めるために毎回著名なゲスト講師に講演してもらっているが、その謝礼も委託料で賄っているため、現状より削減する余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 現状でも委託で実施しているため、削減余地はない。
公 平 性 評 価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 講習会は誰でも受講でき、安全緑化のアドバイスも誰でも受けることができるため、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
<p>公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>講習会等へは毎回相当数の市民が参加しており、緑化や園芸についての知識、啓発としては一定の成果が上がっているものと考えられるが、今後この事業を具体的な緑化推進に結びつける施策を検討する必要がある。</p>

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成 果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

事務事業名	市内の自然環境維持管理事業	所属部	生活環境部	所属課	環境政策課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
公園維持管理の中で事業を進めてきたが自然環境の維持と言う観点から特に抽出した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
現状ではハケ、水、樹木の維持管理に係る委託事務をおこなっており、今後は区域の拡大を計る。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

公共 関与 性 評 価	公共関与の妥当性 なぜこの事業を行政が行わなければならないのか？税金を使う必要があるか、民間や受益者ができる事業か？かつ、行政が行うとした場合、国・都が行う事業か、それとも市が行う事業か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある (理由) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である (理由)	3 改革・改善方向の部に反映
	有 効 性 評 価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある (理由) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない (理由)
廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？(そもそも、この事業は、施策の目的や公益の増進に役立っているか？)		<input type="checkbox"/> 影響無 (理由) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 (その内容)	3 改革・改善方向の部に反映
類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？		<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる (理由) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない (理由)	3 改革・改善方向の部に反映
効 率 性 評 価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある (理由) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない (理由)	3 改革・改善方向の部に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある (理由) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない (理由)	3 改革・改善方向の部に反映
公 平 性 評 価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある (理由) <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である (理由)	3 改革・改善方向の部に反映

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
<p>公共関与妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>自然環境の維持管理には毎年相当のコストをかけなければ、現状を維持していくことは難しい。現在、ボランティア団体等の協力もありなんとか維持しているが、市民による管理運営事業などと合わせて整理する必要がある。</p>

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成 果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成 果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成 果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策